

認知症カフェの始め方Q & A

Q 1 : 認知症カフェを始めるときの相談先はどこですか？

A : 開設する住所地の認知症地域支援推進員にご相談ください。
認知症地域支援推進員の連絡先については、開設する住所地の役所の認知症担当課にご連絡ください。

Q 2 : 認知症カフェの場所は、どのようなところがよいでしょうか。

A : 認知症の人や家族が立ち寄りやすいところ。
公共の建物を利用すると費用が抑えられます。
入りやすさ、広さ、雰囲気、費用のどれを優先させたいのかを検討しましょう。

Q 3 : 経費は、どの位かかりますか。

A : 場所代、スタッフ等の人件費、提供するお茶やお菓子などの費用、レクレーション等に利用する物品の費用等。
認知症カフェの開設・運営に対して自治体からの助成金が出る自治体もあります。開設する住所地の役所に連絡をして助成金について確認しましょう。

Q 4 : スタッフの集め方はどのようにすればよいですか。

A : 認知症サポート医や認知症専門医に運営メンバーとして参加してもらえると心強いです。大分県ホームページに、認知症サポート医の名簿を掲載しています。参加・協力をお願いしてみましよう。
地域に、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士などの職種の方がいれば、参加・協力をお願いしてみましよう。
また、認知症サポーター等ボランティアの協力が得られる自治体もあります。開設する住所地の役所に連絡をしてボランティアについて確認しましょう。

認知症カフェの始め方

Q 5 : 認知症カフェの周知（広報）の方法を教えてください。

A : 軽度認知障害（MCI）や認知症初期の人、その家族にカフェを知ってもらうには、地域包括支援センターや大分オレンジドクター、認知症サポート医、大分県疾患医療センター、介護支援専門員（ケアマネージャー）などにカフェの案内チラシを渡してもらい、認知症カフェへの参加をすすめてもらいましょう。

また、役所や図書館等公共機関にチラシを置いてもらったり、役所の広報紙等への掲載を依頼しましょう。

*大分オレンジドクター、認知症サポート医、大分県疾患医療センターについては「大分県ホームページ」に名簿・住所・連絡先等を掲載しています。

Q 6 : 開催間隔はどの位がよいですか。

A : 認知症の人や家族を支援する目的の場合は、月1回の開催を基本として、利用者の要望により、開催回数を検討するとよいと考えられます。開催頻度は、カフェの必要度、運営コスト、カフェスタッフの負担のバランスを考えて決めましょう。